

『終戦前後の横浜と中学生』

昭和 16(1941)年に始まった「大東亜戦争(太平洋戦争)」は連合国・アメリカ軍の猛反撃にあい日本軍は本土決戦を唱え、昭和 19年私は中学2年でしたが、授業どころでなくなり勤労働員に色々駆り出されました。

まず「強制疎開」で、住宅地が空襲で延焼しないように住宅を間引く強制的に壊す作業をしました。子ども達は「学童疎開」と言って国民学校(小学校)3年生から6年生は箱根や湯河原に「集団疎開」させられました。

また春や秋の農繁期には郊外の農家に泊まりがけで派遣され田植えや稲刈りをしました。

暮近くなると、工場へ勤労働員です。綱島の工場で「無線通信機」の組み立てです。昭和 20年中学3年の5月29日「横浜大空襲」にあい中学校は全焼しました。

終戦は工場で迎えました。小学校を間借りしましたが8月中は授業どころでなく、アメリカ軍が進駐して来ると云うので焼け残ったビルの中を空にする作業でした。

アメリカ軍の進駐が始まると瞬く間に中心の焼け跡はブルドーザーで整地されカマボコ兵舎が立ち並び山下公園も占領され、伊勢佐木町裏に飛行場が作られました。

そんな横浜想像できますか？

理事長 井崎 和夫 (医師)

お散歩に出かけると色とりどりの落ち葉や
ドングリ・木の実がいっぱい！
秋を感じられる季節になりました。
食欲の秋！芸術の秋！
親子で素敵な秋をお過ごしください。



親子で歌ってみよう♪

「まつぼっくり」

まつぼっくりが あったとさ
たかいおやまに あったとさ
ころころ ころころ あったとさ
おさるがひろって たべたとさ



保育園献立メニュー

栗ご飯 (子ども2人 大人2人)

栗(甘露煮) 120g	A	塩	小 1/2
米 2合		醤油	小 1弱
		酒	大 1/2

<作り方>

米をとき栗と調味料Aを炊飯器に入れ、2合分の水を入れて炊く



さんまの蒲焼 (子ども2人 大人2人分)

生さんま(開き) 6枚	しょうが(すりおろし) 少々		
薄力粉 少々		みりん 少々	
油 大 1	B	砂糖	大 1
		醤油	大 1弱
		酒	小 1

<作り方>

- ①さんまに薄力粉をまぶし油をひいたフライパン又はオーブンで焼く。オーブンは焼く前に油を少しふりかけなじませる
- ②Bのたれをひと煮立ちさせる
- ③焼いたさんまと B のたれを絡ませたら完成です！

風邪の季節となりました！

手洗いうがいを心がけましょう！

インフルエンザの予防接種はうけましたか？